

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 市の台所事情と臨時財政対策債について (40分)</p> <p>長引く少子高齢化問題の中、税を納める世代の減少で市の財源としての収入の減少が見込まれています。</p> <p>一方で、高齢化により民生費の支出が著しい伸びを示しています。</p> <p>一般的に、収入が減り支出が増えれば、一般の家庭では生活が成り立たなくなってゆきます。このことは市でも同様のことと思いません。</p> <p>その不足分を埋める措置として、地方交付税と臨時財政対策債の制度があります。臨時財政対策債はいったん市が市債として借金をしますが、その借金は、のちに国から市に入る交付税に算入されて返済となるとのことであります。しかし、長きにわたる国の歳入不足においては、もはや自転車操業的な手当となっております。</p> <p>今後の市の財政を憂い、以下質問をいたします。</p> <p>(1) 自主財源と依存財源について</p> <p>(2) 交付税の種類(普通交付税と特別交付税)について</p> <p>(3) 基準財政収入額と基準財政需要額の過去5年間の推移は。</p> <p>(4) 臨時財政対策債の過去5年間の期末残高は。</p> <p>(5) 歳入増に向けての政策は。</p>	市長